

福島県における復興祈念公園のあり方
(基本構想への県提言)
検討有識者会議

検討有識者会議 資料

【国における復興祈念公園検討の経緯】

平成27年10月9日

福島県土木部まちづくり推進課

1. 復興祈念公園に関する検討経緯

○平成23年度に関係機関及び被災3県を構成員とする「東日本大震災復興祈念公園検討会議」を設置

■「東日本大震災復興祈念公園検討会議」構成メンバー

- ・国土交通大臣政務官（座長）
- ・国土交通省都市局長
- ・復興庁統括官
- ・岩手県・宮城県・福島県副知事

○あわせて、震災復興祈念公園の意義、担うべき役割、基本的な理念等に関する技術的な側面から検討するため、有識者を構成員とする「震災復興祈念公園基本構想検討会」を設置

■「震災復興祈念公園基本構想検討会」構成メンバー（敬称略 五十音順）

	氏名	所属		氏名	所属
委員	赤坂 憲雄	学習院大学文学部日本語日本文学科教授、福島県立博物館 館長	行政委員	舟引 敏明	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長
	内藤 廣	建築家 東京大学 名誉教授		榑野 良明	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室長
	林田 光祐	山形大学農学部 食料生命環境学科 教授		新田 敬師	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 公園緑地事業調整官
	森山 雅幸	公立大学法人 宮城大学 食産業学部環境システム学科 教授	オブザーバー	渡邊 健治	岩手県 県土整備部 都市計画課 総括課長
	横張 真	東京大学大学院 新領域創成科学研究科自然環境学専攻 教授		櫻井 雅之	宮城県 土木部 都市計画課長
	涌井 史郎	東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 教授		芳賀 英次	福島県 土木部 まちづくり推進課長

1. 復興祈念公園に関する検討経緯

○震災復興祈念公園の役割

- ・「追悼・鎮魂」と「震災の記録・教訓の伝承」は、あらゆる機会を通じ、あらゆる場面で、あらゆる主体により行われるもの。
- ・その中で震災復興祈念公園には、以下の役割が求められる。

- * 追悼と鎮魂の場
- * 記録・教訓の伝承の機能
- * 地域の復興のビジョンや新たなコミュニティのあり方を示す場

○国と地方の役割分担

- ・震災復興祈念公園は、原則として地方公共団体において整備するもの。
- ・国は震災復興交付金等により支援。
- ・他方、一の地域を越え、広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることから、以下のような役割が国にも求められる。

- * 全ての犠牲者への追悼と鎮魂
- * 日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと
- * 震災からの復興を成し遂げた地域のすがたを示すこと

- ・こうした役割と関連の深い震災復興祈念公園については、国と地域が連携して検討を進めることが必要。

1. 復興祈念公園に関する検討経緯

○国と地方が連携して検討する震災復興祈念公園のあり方

- ・国と地方が連携して検討する震災復興祈念公園は、以下の要件を基本とする。

立地：地域の発意を踏まえつつ、被災の全容を象徴しているなど、国民全体で追悼と鎮魂に思いを寄せ、後世に伝承することがふさわしい場所に立地することが望ましい。

- 機能：**
- ①失われた全ての命に対する追悼と鎮魂の場の設置
 - ②復興への意志を国内外に宣言するとともに、復興後の我が国の姿を想起させるなど、復興を祈念する場の設置
 - ③被災の実情とその教訓を広く国内外に伝え、後世に伝承する場の設置

2.被災3県における復興祈念公園の検討

■被災3県における検討

○岩手県(高田松原津波復興祈念公園)

- ・高田松原地区震災復興祈念公園のあり方に関する提言 平成25年3月
- ・高田松原津波復興祈念公園基本構想 平成26年6月
- ・高田松原津波復興祈念公園基本計画 平成27年8月
- ・現在、高田松原津波復興祈念公園基本設計を検討中

○宮城県(石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称))

- ・石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本構想 平成26年3月
- ・石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画 平成27年8月
- ・現在、石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本設計を検討中

○福島県

- ・福島県においては、津波被災地の復旧・復興事業が進むとともに、原子力被災市町村の避難指示解除の動きも出てきたことから、平成26年度より公園候補地の検討を進め、平成27年4月に候補地を決定。
- ・平成27年度は、復興祈念公園のあり方（基本構想への県提言）を検討予定。